

民児協だより



心をつなぐ新旭

発行者 新旭民生委員児童委員協議会
連絡先 高島市役所社会福祉課 25-8120



令和3年度を迎えましたが、依然として新型コロナウイルスの感染は収束が見通せない状況です。地域の高齢者サロンが開催されないなど交流の機会が少なくなって外出の機会も減っているのではないのでしょうか。子どもたちも友達と遊ぶ機会も減りさみしい思いをしているのではないかと心配されます。

新旭民生委員児童委員協議会におきましては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで相談に応じ、訪問活動や見守り活動を進めていきたいと考えております。

加えまして、自治会、福祉団体、ボランティア、行政と協力していろいろな福祉活動に参画していきたいと考えております。

東日本大震災の発生から10年が経ちました。この10年の間には、豪雨による土砂災害や水害、大規模な地震なども発生しております。台風や地震など自然災害はいつ発生するかわかりません。避難場所の確認や食料・水の備蓄などの備えが大切です。民生委員児童委員としても自治会や行政との連携を強化して防災のための活動にも取り組んでいきたいと考えております。今年度もよろしく申し上げます。

新旭民生委員児童委員協議会 会長 大藤 耕平

活動スローガン

令和3年度 新旭民生委員児童委員協議会

全体事業計画

共に助け合い共に生きる「福祉のまちづくり」を進めるために

- 1. 住民の皆さんから信頼される相談相手になろう
- 2. 関係機関・団体とともに支援活動を充実しよう
- 3. 民生委員児童委員として研鑽に努めよう



- ① 定例会：毎月第3土曜日
(ミニ研修会や部会研修会)
- ② 役員会：毎月第2金曜日
- ③ 交換民児協
(感染防止対策を徹底して実施予定)

児童部会事業計画

スローガン
「子どもたちの
健やかな成長を見守る」



活動方針

- 市内各校園との交流を通して、町内の幼児・児童及び生徒の実情やその育成環境を把握するとともに、関係機関とも連携し子どもたちの健やかな成長に寄与する。
- 青少年の健全育成に関する研修会に積極的に参加し、現代の子どもたちを取り巻く諸問題について学習を深めながら、課題に対処する力量を高める。

活動計画

- ① 1歳児誕生会参加支援
- ② こども園各種行事への協力
- ③ 小中学校行事への協力
- ④ 保育士・小中学校教職員との懇談会
- ⑤ 部会構成員による登下校見守り活動



障がい者部会事業計画

活動方針 《コロナ禍を視野に入れた事業を推進する》

- 障がい者の特性を理解する。
- 障がい者支援施設を訪ね、高島市の障がい者の生活を学ぶ。
- 障がい者週間に合わせ障がい者理解の啓発活動を行う。

活動計画

- ① ビデオ研修会の開催
- ② 施設見学(グループホーム)訪問
- ③ 全国障がい者週間啓発活動(街頭活動)
- ④ 福祉祭りなどのイベントへの参加協力については、開催状況を確認し検討する



高齢者部会事業計画

活動方針

- コロナ禍で、ウイズコロナ・新しい日常が求められる中、時々の状況に即した見守り・支援を継続して活動する。

活動計画

- ① 敬老訪問…担当地区の該当者へ友愛訪問・安否確認を行う
- ② 研修の実施…定例会において開催予定「認知症サポーター養成講座」を受講し認知症サポーターの役割を学ぶ
- ③ イベントなどの支援・参加



広報部会事業計画

活動方針

- 新旭民生委員児童委員の活動を住民に知らせ、民児協活動への理解を得るとともに、福祉の心でつながる新旭の構築の一助となるように活動を展開する。

活動計画

- ① 民児協だより「心をつなぐ新旭」の発行年2回(第39号・第40号)
- ② 「民生委員・児童委員の日」一斉取り組み実施活動強化週間(5月12日~18日)の16日(日)に街頭活動を実施
- ③ 新旭福祉祭りに協賛(感染状況に応じる)
- ④ 各部会や民生委員児童委員の活動状況を広報する





いざというときの「命のバトン」 ご存じでしょうか？

【この事業は、高島市および高島市民生委員児童委員協議会連合会との協働により実施しています。】

一人暮らしの70歳以上の高齢者の方、75歳以上の高齢者のみの世帯の方、障がいのある方などの安全安心のために実施しています。

※配布には、申込書の提出が必要となります。ご希望の方は各地域の民生委員児童委員までお申し出ください。



※太田区・五十川区については全戸配布されています。

令和2年度の活動報告



青少年育成学区民会議の活動に参加しました。
(令和2年11月28日実施)



主任児童委員による
赤ちゃん訪問 (11月)

編集後記



コロナ感染の恩恵か？インフルエンザ感染の報道を見聞きすることがなかった。感染症対策の基本（手洗い・うがい・マスク着用）が有効だったのだろう。「基本」の大切さが証明された。一人ひとりの小さな心掛けが大きな成果につながる証。

民児協活動の基本を再考し、日々の活動を見直していきたいと思います。